



活発な議論を今後重ねていくため、研修を行いました

国保事業の運営を審議

市国民健康保険運営協議会委員辞令交付式

市国民健康保険運営協議会委員辞令交付式は10月24日、市役所で行われ、委員9人に田村正彦市長より辞令が交付されました。

辞令交付後には、国民健康保険にかかる研修会も併せて行われ、平成30年度からの制度改革の内容についての理解を深めました。

同協議会は、国民健康保険事業の運営に関する予算や条例、保険税率、保健事業などを審議するために設置され、委員の任期は2年間となります。

共生社会の実現へ向け

岩手県手をつなぐ育成会県大会・本人大会

第51回岩手県手をつなぐ育成会県大会・本人大会は10月1日、同育成会(親の会)会員ならびに本人、障がい者施設・学校関係者など約400人が参加し、安比高原で開かれました。

大会では、昨年7月に相模原市の障がい者支援施設でおきた残虐な事件が二度と繰り返されぬよう、障がいのある人もない人も、人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指すことを固く誓い、障がい者理解の活動を進めていくことを確認しました。



本人大会決議を述べる本人大会実行委員会の皆さん

プログラミングGood!

第1回アクセルキャンプ

小学生向けのプログラミング教室「アクセルキャンプ」は10月28日、29日の両日、西根総合支所で行われ、小学生とその保護者が参加し、プログラミングでドローンの自動飛行などを体験しました。

アクセルキャンプは、市起業家支援センターに居している阿部拓磨さんが実施する同センター初の事業。参加した佐々木青輝君(大更小3年)は「プログラミングは少し難しかったけど、ドローンを動かして楽しかった」と満足した表情を浮かべました。



自らプログラミングしたドローンの動きを追う参加者



傘をさす観客の前に「八幡平太鼓」を響かせる児童たち

雨にも負けず太鼓披露

八幡平山賊まつり

八幡平山賊まつりは、10月7日から9日まで、さくら公園イベント広場で開かれました。

初日は雨模様だったものの、3日間で約2万6千人が来場。市内外の特産品の販売、保育園児のお遊戯や小・中学生による太鼓の演奏、吹奏楽の発表などが行われました。八幡平太鼓を披露した田村紗和さん(柏台小6年)は「山賊まつりで太鼓演奏は今回が最後でした。練習の成果を出すことができて良かったです」と満足げに話してくれました。



接戦となったアサヒブルドックス対DHジャンキース

白球追い掛け愉快適悦

第12回八幡平市長杯争奪市民野球大会

第12回八幡平市長杯争奪市民野球大会は10月15日、市総合運動公園野球場を主会場に行われ、10チームが参加し、優勝を争いました。

市野球協会に登録しているチームはもちろん、この大会のためだけに、職場の仲間や中学校の同級生らと結成したチームも多数出場。高校生から60代までの幅広い世代が参加しました。

選手は皆、ひたむきに白球を追い、満面の笑みを浮かべ、純粋に野球を楽しんでいました。

今年も姉妹都市と交流

第71回田老地区体育大会

第71回田老地区体育大会は10月8日、姉妹都市である宮古市の田老第一中学校校庭で開催されました。

大会には、本市から総勢28人の選手団が参加。徒競走や綱引きなど、おなじみの種目のほか、漁具を使って、アワビの貝殻やウニに見立てたタワシをすくい上げる「田老名物」レースが行われ、沿岸ならではの種目に悪戦苦闘する参加者へ声援が送られていました。

アトラクションでは、さくらさんさ愛好会16人がさんさ踊りを披露し、大会に華を添えました。



名護市派遣職員の伊波寿々歌さんが「田老名物」レースに挑戦

すなっぶギャラリー



紅葉まつりで披露されたチェーンソーアート(10月14日、県民の森フォレストアイ)



市芸術祭で手芸や工芸、絵画などを鑑賞して回る来場者(10月28日、西根地区体育館ほか)



好天に恵まれた中、5年生の児童9人が稲刈り体験をしました(10月5日、田頭小学校付近田んぼ)



東北高等学校相撲選抜大会で団体、個人、体重別を制した長内龍選手(10月21日、市松尾相撲場)



士気を高め試合に臨む田頭VBSS(10月28日、第14回西根ライオンズカップ小学生バレーボール選抜交流大会)